



## とっとりネイチャーポジティブ宣言



鳥取県は、中国地方の最高峰・大山をはじめとする緑豊かな中国山地の山々から青く澄み渡る日本海までの急峻な地形に千代川、天神川、日野川の三つの流域に形成された平野部、中海、湖山池、東郷池といった湖沼などの環境が存在し、そこには様々な植生が分布し、多様な野生生物が暮らす豊かな自然に恵まれた地域です。

鳥取県民は、こうした豊かな自然環境からもたらされる生物多様性の恩恵や地域で守られてきた人と人の絆に象徴される「鳥取らしさ」のある個性的な文化や、農林水産業などの産業を育んできました。

しかしながら、今日では開発や乱獲など過剰な人間活動、生活様式の変化による里地里山の手入れ不足、外来種によるかく乱や地球温暖化による地球環境の変化が、自然の生態系や身近な生活環境へ大きな影響を及ぼしており、豊かな自然環境が損なわれようとしています。

このため、私たちはこれらの環境を保全し、将来にわたって持続可能な利用に取り組み、「鳥取らしさ」のある社会を築き上げることが求められているとともに、鳥取県における生物多様性の現状と課題を踏まえ、自然の恩恵を再認識し、県民、企業、行政、専門家などさまざまな主体が協働・連携して生物多様性の保全や持続可能な利用に取り組むことが必要となっています。

私たちは、「鳥取県生物多様性地域戦略」に掲げる「人と自然が共生するとっとり」の実現のため、一丸となってネイチャーポジティブに取り組んでいくことをここに宣言します。

- 地域と企業、団体、大学、自治体等が連携してネイチャーポジティブに取り組むための枠組をつくり、生物多様性保全の推進を通じて、地域課題の解決や新たな地域の魅力や価値の創造に取り組みます。
- 鳥取県の豊かな自然環境を後世に引き継ぐため、希少な野生動植物の保護や自然共生サイトの登録等を推進します。
- ネイチャーポジティブの取組を定着させていくため、自然体験活動や環境教育等を通じて県民一人一人の行動変容を促します。

令和7年11月28日

鳥取県知事 **平井伸治**